

ホテル等内適合営業所の基準

営業所が、旅館業法第2条第2項に規定するホテル営業又は同条第3項に規定する旅館営業に係る施設内に所在し、かつ、良好な風俗環境の保全に障害を及ぼすことがないため特にその設置が許容されるものとして国家公安委員会規則で定める基準に適合するもの（「ホテル等内適合営業所」）であるときは、営業所設置許容地域の外であっても当該ホテル・旅館の中で特定遊興飲食店営業を営むことが認められる。

ホテル・旅館が以下の要件を満たす場合は、「ホテル等内適合営業所」に該当する。

ホテル等内適合営業所の該当要件		
1	営業所が、旅館業法第2条第2項に規定するホテル営業又は同条第3項に規定する旅館営業(以下「ホテル等営業」という。)に係る施設内に所在しているか	
2	国家公安委員会規則で定める基準	① 営業所が設けられる階の当該営業所以外の部分、直上（当該営業所が最上階に設けられる場合は屋上）・直下の部分を、ホテル等営業者又は風俗営業者、特定遊興飲食店営業者若しくは、深夜酒類提供飲食店営業者若しくは興行場営業を営む者が管理すること
		② バルコニーを設置する場合にあっては、バルコニーに通じる出入口に二重扉を設けること
		③ 非常の場合を除き、ホテル等営業者が管理するホテル・旅館内を通過してのみ、営業所に客が出入りできる構造であること
		④ ホテル等営業者が、営業所への客の出入りを適切に管理することが見込まれること
		⑤ ホテル・旅館施設が、法第2条第6項第4号に規定する営業（ラブホテルモーテル営業）の用に供されるものでないこと

注 「ホテル営業」～旅館業法第2条第2項に規定するもの

ホテル営業とは、洋式の構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて、人を宿泊させる営業で、簡易宿泊所営業及び下宿営業以外のものをいう。

「旅館営業」～旅館業法第2条第3項に規定するもの

旅館営業とは、和式の構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて、人を宿泊させる営業で、簡易宿泊所営業及び下宿営業以外のものをいう。